

会社名 ピープル株式会社

上場取引所 東 スタンダード

コード番号 7865

(https://www.people-kk.co.jp/)

代表者 取締役兼代表執行役 桐瀬真人

問い合わせ先: 執行役

飛田留美子

TEL: 03-3862-2768

## ◆売上高 前年対比

(金額単位:千円)

10月度(単月)	前期:2024年1月期	当期:2025年1月期	前年同月比
乳児・知育・構成玩具カテゴリ(注1)	172,423	122,334	70.9%
メイキングトイカテゴリ(注2)	25,917	5,240	20.2%
その他(遊具・乗り物・育児等)(注3)	19,360	7,693	39.7%
海外販売・ロイヤリティ収入	196,067	16,831	8.6%
合計	413,767	152,098	36.8%

2~10月度(累積)	前期:2024年1月期	当期:2025年1月期	前年同期間比
乳児・知育・構成玩具カテゴリ(注1)	990,061	937,925	94.7%
メイキングトイカテゴリ(注2)	161,815	24,924	15.4%
その他(遊具・乗り物・育児等)(注3)	248,903	108,064	43.4%
海外販売・ロイヤリティ収入	2,991,631	173,425	5.8%
合計	4,392,410	1,244,337	28.3%

(注1)旧「乳児・知育玩具カテゴリ」。

(注2)2024年1月期はお人形シリーズ(ぼぼちゃんシリーズ)を含んでおります。

(注3)「その他」には2024年1月期まで別掲しておりました「屋内遊具・乗り物カテゴリ」を含んでおります。そのため、2024年1月期の数値も組み替えております。

## ◆10月度発売新商品・リニューアル商品

当月は新商品およびリニューアル商品の発売はありません。

## ◆10月度および直近TOPICS

●乳児・知育・構成玩具カテゴリは、新商品発売のあった前年同月売上との単月比較では下がったものの、依然としてピタゴラスシリーズを主として当カテゴリが全体の売上を底支えています。

当月は第3四半期末にあたりますため、期初2月度から当10月度までの業績につきましては、本日公表の「2025年1月期 第3四半期決算短信[日本基準](非連結)」をご参照ください。

## ●直近のメディア掲載情報

・【WEB】「Trustcellar」に「うちの赤ちゃん世界ースマート知育ジム&amp;ウォーカー」が紹介されました。

<https://trustcellar.com/media/articles/1320>

・【プレスリリース】ピープル「お米のおもちゃ」の新商品が「トモニ子育て大賞2024 期待の商品賞」を受賞!

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000207.000045493.html>

・【プレスリリース】佐賀県武雄市にてピープル「子どもの好奇心バクハツ親子フェス」を開催!

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000205.000045493.html>

・【プレスリリース】「ジャパン・ハウス ロンドン」で先行体験イベント開催!

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000204.000045493.html>

■ 第1回「個人投資家向け会社説明会」の動画を配信しております。これからの事業活動について、過去からの当社の歴史も踏まえつつ、代表者よりご説明する内容です。宝印刷発行IRマガジン『ジャパニーズインベスターオンライン』～オンライン個人投資家説明会 <https://japaneseinvestor.jp/briefing/> または、当社ホームページのIR情報 <https://www.people-kk.co.jp/investorrelations/> に説明会動画を掲載しておりますので、ぜひご視聴ください。

当社は現在、収益性の低いカテゴリを終了させ、2026年1月期の「好奇心事業」ローンチにリソースを集中し、再び成長路線に入る計画の途上にあります。

そのため、お人形ぼぼちゃんや自転車、これら商品の製造販売を終了させたこと、また米国向け「Magna-Tiles」の販売契約が変更になったこと(※)により、当期は一時的に業績が下がることを見据えながら、2026年1月期の新事業スタートまでの短期的対策として、下記の優先順序で施策を行います。

- (1)収益性の高い、ピタゴラス、ねじハピ、やりたい放題の主力3商品にリソースを絞り、粗利率を確保しつつ売上を確保
- (2)アジアを中心とした新たな海外販路の確保
- (3)ドラステックな経費削減

当社の活動状況は、随時当社発信のnoteでもお伝えしております。 <https://note.com/people.pr>

(※)米国向け「Magna-Tiles」の販売契約変更について

これまでの当社がディストリビューターから受注した商品をOEM販売する形態から、ディストリビューターが工場と直接取引をする傍ら当社はロイヤリティ収入を得る形態へ変更となりました。

この変更により、当該売上高はこれまでより大幅に減少するものの、社内の人的リソースを使わずにロイヤリティという形で収益が得られることとなります。

## (ご参考)業績予想(2024年12月2日公表)

2025年1月期通期(2024年1月21日～2025年1月20日)業績予想

	2025年1月期通期 業績予想 (百万円)	前期比(%)
売上高	1,856	34.7
営業利益	△125	—
経常利益	△123	—
当期純利益	△132	—